

【第3学年及び第4学年 目標】			学習指導要領との関連					東京都小学校音楽教育研究会 山の手Bゾーン大会 公開授業 第4学年「日本の音楽に親しもう」 新宿区立江戸川小学校 教諭 白鳥 あみ			
(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。			主な学習内容								
学 期	◎題材名（時数） 主な教材 ○歌唱 ●器楽 □音楽づくり ♪鑑賞 (共) 共通教材	題 材 の 目 標 (1) 知識及び技能の習得 (2) 思考力・判断力・表現力等の育成 (3) 学びに向かう力、人間性等の涵養	表 現			B 鑑 賞	〔共通事項〕 ア★音楽を特徴付けている要素 ☆音楽の仕組み イ音符、休符、記号や用語	題材の評価規準			◆視点3に 関わる事項
			(1) 歌 唱	(2) 器 楽	(3) 音楽 づくり			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期 22	◎せんりつやリズムの特徴を生かして歌おう（6） ○ありがとうの花 ○さくら さくら（共） ●さくら笛 ♪さくら変奏曲 ○国歌『君が代』	(1) 曲想と旋律やリズム、反復などの音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴を捉えたり、互いの音や歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することを楽しむ態度を養う。	ア イ ウ(ア) (イ) (ウ)	ア イ(ア) ウ(ア) (イ) (ウ)		ア イ	ア★リズム、 旋律 ☆反復	①曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて気付いている。（知：歌） ②曲の特徴を捉えた表現をするために、リコーダーの息づかいや正確な運指で演奏する技能を身に付けている。（技：器） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌） ④思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌）	①リズムや旋律、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌・器） ②音色、旋律、音階、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いたりしている。（歌・鑑）	①曲の特徴を捉えたり、互いの音や歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じている。（歌） ②日本のうたをもとにした音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みもうとしている。（歌・器・鑑）	◆国語科「春の楽しみ」 春の自然の様子や行事を表す言葉をたくさん挙げる。
	◎はくとせんりつを感じ取ろう（8） ○ラバーズコンチェルト ♪メヌエット ♪トルコ行進曲 ○メリーさんの羊 ●エーデルワイス	(1) 曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。 (3) 拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな拍子の音楽に親しむ。	ア イ ウ(イ)	ア イ(イ) ウ(イ) (イ) (ウ)		ア イ	ア★速度、旋律、強弱、 拍	①曲想と速度や拍など音楽の構造との関わりについて気付いている。（知：歌・鑑） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けている。（技：歌・器）	①旋律や強弱、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。（歌・鑑）	①拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みもうとしている。（歌・器・鑑）	
	◎ひびきのある歌声に親しもう（8） ♪ミュージカ「サウンド オブ ミュージック」から ○プパポ ○まきばの朝（共） □音の動き方を生かしてせんりつをつくらう	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いたり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得ている。 (3) いろいろな歌声を聴いたり音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ミュージカルの音楽に親しむ。	ア イ ウ(イ)	ア イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ) (ウ)	ア(ア) イ(ア) ウ(ア)	ア イ	ア★音色、 旋律 、フレーズ ☆音楽の縦と横との関係	①曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて気付いている。（知：歌） ②音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。（知：づ） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。（技：歌） ④発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。（技：づ）	①音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。（鑑） ②旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌） ③旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。（づ）	①いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みもうとしている。（鑑） ②歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みもうとしている。（歌） ③音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みもうとしている。（づ） ④篠笛の音色に興味をもち、楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みもうとしている。（器）	◆地域行事 「神楽坂阿波踊り大会」 5年生が演奏するお囃子に合わせて、他学年の児童と共に「阿波おどり」を踊る。 ◆地域の専門家による篠笛の奏法の指導

2 学 期 時 数 24	◎曲に合った歌い方を工夫しよう（4） ○ゆかいに歩けば ○とんび（共） ●ハローサミング ●もののけ姫	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌ったり音を合わせて演奏したりする技能及びサミングの技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	ア イ ウ(イ)	ア イ(イ) ウ(ア) (イ) (ウ)			ア★ 旋律 、音色、フレーズ、 強弱 ☆音楽の縦と横との関係 イ スタッカート 、クレシェンド、デクレシェンド	①曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いて表現している。（知：歌） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。（技：歌） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて表現している。（知：器） ④互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付けている。（技：器）	①旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌） ②旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。（器）	①曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（歌） ②高い音をきれいに響かせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（器）	◆国語科「秋の楽しみ」 秋の自然の様子や行事を表す言葉をたくさん挙げる。 ◆音楽家による演奏会とお話会
	◎かけ合いと重なり の面白さを味わおう（4） ♪「水上の音楽」から アラホーンパイプ ○もみじ（共）	(1) 曲想と、音の重なりや呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、音の重なり、反復、呼びかけとこたえ、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴くいたり、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どの様に歌うかについて思いや意図をもったりする。 (3) 楽器の響きやかかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもって音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しんだり、歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや二部合唱に親しむ。	ア イ ウ(イ) (ウ)			ア イ	ア★ 音色 、旋律、 音の重なり ☆反復、 呼びかけとこたえ 、変化	①曲想と、音の重なりや呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いて聴いている。（知：鑑） ②曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いて歌っている。（知：歌） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。（技：歌）	①音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律の反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。（鑑） ②旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌）	①楽器の響きやかかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（鑑） ②歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（歌）	◆開校120周年 式典での演奏
	◎世界の音楽に親しもう（3） ♪サムルノリ ♪サンバの音楽 ○●おどれサンバ	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、音楽のよさを見だし味わって聴いたり、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けたりする。 (2) 旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。	ア イ ウ(イ) (ウ)	ア イ(ア) (イ) ウ(イ) (ウ)		ア イ	ア★ 音色 、 リズム 、 旋律 音の重なり イ くり返し記号	①曲想とリズムや旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。（知：歌・鑑） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌ったり、曲の特徴に合ったリズム伴奏を工夫したりする技能を身に付けている。（技：歌・器）	①旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴いている。（鑑） ②『おどれサンバ』のリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。（歌・器）	①諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（歌・器・鑑）	
	◎みんなで合わせて 楽しもう（10） ＜音楽会に向けて＞ ●風になりたい □パートの役割をもとに 音楽を工夫しよう	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や拍に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けたり、フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けたりする。 (2) フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合奏や音楽づくりに親しむ。		ア イ(ア) (イ) ウ(イ) (ウ)	ア(イ) イ(イ) ウ(イ)		ア★ 音色 、 リズム 、 強弱 音の重なり 、 拍 、 フレーズ ☆呼びかけとこたえ、 音楽の縦と横との関係	①曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。（知：器） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。（技：器） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。（技：づ）	①フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。（器） ②フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもって表現を工夫している。（づ）	①曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（器） ②役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（づ）	◆学校行事 「120周年記念 音楽会」

	◎ことの魅力を感じて（3） ●さくら さくら	(1) 箏の音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付けて、演奏する技能を身に付ける。 (2) 箏の音色を聴き取り、その働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 箏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、我が国の楽器や音楽に親しむ。		ア イ (イ) ウ (ウ)			ア ★音色、旋律	① 箏の音色や響きと演奏の仕方との関わりに気付いている。（知：器） ② 音色や響きに気を付けて箏を演奏する技能を身に付けている。（技：器）	① 箏の音色や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関係について考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。（器）	① 箏の音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（器）	◆社会科 「東京都の伝統や文化、東京都の発展につくした人々」受け継がれる祭りについて調べ、表にまとめる。
3 学 期 14	<u>大会授業</u> ◎日本の音楽に親しもう（6） ○●ソーラン節	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて気付くとともに、互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、日本の民謡の曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 日本の民謡の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。		ア イ (イ) ウ (ウ)		ア イ	ア★音色、リズム、旋律、拍 ☆呼びかけとこたえ	① 曲想と民謡独特の声色、使われている楽器の音色やリズム、音頭一同形式との関わりに気付いている。（知：鑑） ② 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ④ 音色や響きに気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。（技：器） ⑤ 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。（技：器）	① 曲や演奏のよさを見だしながら、音楽を味わって聴いている。（鑑） ② 互いの楽器の音色、リズム、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように音を合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。（器）	① 日本の民謡に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的に学習活動に取り組もうとしている。（鑑・器）	◆地域の専門家による篠笛の奏法の指導
	◎日本の音楽の魅力を感じて（4） ♪○沖永良部の子もり歌（さくらさくらソーラン節）（参考曲） □音階をもとにして音楽をつくろう	(1) 様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現を工夫するために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。 (3) 音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の旋律に親しむ。			ア (ア) イ (イ) ウ (ウ)		ア★旋律、音階、フレーズ	① 様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。（知：づ） ② 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。（技：づ）	① 旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、どのような音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。（づ）	① 日本の伝わる歌の特徴や味わいを捉え、音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（づ）	◆体育科 表現「エイサー」 沖縄民舞「エイサー」を、パーランクーを演奏しながら音楽に合わせて踊る。
	◎思いに合った表現を工夫しよう（4） ○グッデーグッバイ ●遠き山に日は落ちて	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり、音を合わせて演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。 (3) 声や音を合わせて歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	ア イ ウ (ウ)	ア イ (イ) ウ (ウ)			ア★音色、旋律、音の重なり	① 曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりや歌詞の内容との関わりに気付いている。（知：歌・器） ② 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。（技：歌） ② 思いや意図に合った表現を工夫するために必要な、伴奏を聴き音を合わせて演奏する技能を身に付けている。（技：器）	① 互いの歌声や伴奏を聴き、どのように声や音を合わせて歌ったり演奏したりするかについて、思いや意図をもっている。（歌・器） ③ 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもっている。（歌・器）	① 声や音を合わせて歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（歌）	